

ふるさと伊陸を学ぶ

～学校・育友会・地域が連携した学習の推進～

柳井市立伊陸小学校育友会

P T A名称	柳井市立伊陸小学校育友会	
所在地	柳井市伊陸 5 8 5 6 番地 1	
学校地域の 概要・組織	【学校地域の概要】 本校は、柳井市の北部に位置し、氷室山・銭壺山・琴石山に囲まれた盆地内にある。四周閑静・空気静澄であり、広大な農村地帯の中の環境に恵まれた場所である。 周東大規模農道をはじめとする幹線道路の交通量が多く、児童の登下校の安全にも注意が必要となっている。保護者は、共働きの家庭が多いが、参観日や学校行事への参加も多く教育熱心である。また、地域住民は勤勉実直で、教育に寄せる関心は高く、学校に対しても協力的である。	
	【学校地域の組織】 豊かな教育活動・地域の活性化に向け、育友会・地域が連携して協力・協働しながら取り組んでいる。 学校運営協議会を土台として、豊かな教育活動・地域の活性化につながる組織を構成している。 地域 学校応援団 学校 学校教育目標 わくわくする学校 保護者 育友会 学校運営協議会	

研究テーマ	ふるさと伊陸を学ぶ ～学校・育友会・地域が連携した学習の推進～ 学校が取り組んでいる地域連携カリキュラムの中の「ふるさと伊陸」をテーマとしたさまざまな学習において、育友会・地域が連携して協力・協働する。 子どもたちの「学びの場」である学校（運動場・芝生の広場など）や地域・通学路を整備する。
成果と課題	【成果】 「ふるさと伊陸」をテーマとした学習を進める際に、育友会（保護者）や地域の方に、さまざまな活動の補助的役割や実際の運営に関わっていただいた。それに伴い、学校と地域が双方向で活性化したと感じている。育友会役員を中心に情報交換を密に行いながら、それぞれの立場での思いを共有し、必要感に基づいた活動が実行できた。 子どもたちについては、地域に残る歴史や文化を体験することで、これまで以上にふるさとを大切にしようとする心が育成された。また、育友会（保護者）や地域も、子どもたちにとって必要なことは何かを考え活動することで、より学校との連携の大切さを意識できた。 【課題】 学校の小規模化（児童数減少・家庭数現象）により、学校行事・育友会活動を含めたさまざまな場面において、保護者一人一人への負担が大きくなる可能性が考えられる。学校行事の内容の精選見直しを含め、地域との連携の方策を更に模索していかなければならない。 現在、学校運営協議会や学校応援団（地域ボランティア）の活動が保護者に十分周知できておらず、参加者も限定されている状況である。それらの活動について、広報等で知らせ理解を進めていくことでさらに連携が密になり協力体制を築けるのではないかと思う。 学校・家庭・地域の力を結集して取り組める活動を仕組み、地域と共に歩む「学校づくり」「育友会づくり」を継続していきたい。

【「ふるさと伊陸」・・・ふるさと学習】

学校地域連携カリキュラムに基づき、子どもたちが地域の特産物・伝統について調べたり体験したりし、ふるさと伊陸について、さまざまな方向から学びを深めた。保護者や地域の方もそれらの学習に関わってくださり、大変有意義な学びになった。

活動内容

(1) 梅収穫体験をしよう

地域の特産物である「梅干し」の材料である梅の実の収穫体験を行った。梅園の近くまでスクールバスを活用して移動をすることで、体験の時間を十分に取ることができた。収穫体験の後には、梅干し作りの工程についての話を聞いたり、梅干しが漬けてある樽が並ぶ様子を見学したりした。

本体験前に、育友会・地域の方が梅園までの経路の草刈りをするなどの整備をしてくださったおかげで、安全に体験することができた。



(2) バケツ稲作りをしよう

児童からも、必ず伊陸の自慢の一つとして挙がってくる「伊陸米」。本校では4年前からバケツ稲作りを通して、米作りについて学びを深めている。本年度も、地域の農家の方を講師に迎え、米作りの一連の工程を体験し、ふるさと伊陸の特産物について詳しく知ることができた。



(3) 伊陸神楽を学ぼう

本校で長年にわたって取り組んでいる、地域の伝統『伊陸神楽』の学習。本年度も高学年児童が、伊陸神楽保存会の方の指導を仰ぎながら神楽を知



り、学び、舞うという貴重な学習をした。

校内発表会では装束を身に纏い立派に発表できた。

活動内容

(4) 伊陸フェスティバル新鮮市場に参加しよう

本校を会場に行われる伊陸フェスティバル新鮮市場（地域の行事）に、児童が参加した。当日は地域の諸団体による野菜や特産品等を売るブースが設けられており、3～6年児童がそれらブースの手伝い・協力を行った。また、1・2年生は、生活科の学習で制作したリースやツリーなどを販売する体験をした。事前のリースやツリーの制作にあたっては保護者が材料



を準備したり、制作の補助をしたりと多方面から協力をしてくださった。

地域の方と関わり、喜んでもらうことで、子どもたちは自己肯定感を高めることができた。



(5) プロスポーツ選手（広島カープの選手）に学ぶ

近隣の学校である日積小学校と合同で、広島カープの選手による体験教室を実施した。プロの野球選手の話の聞いたり、実際にボールを打ったり、キャッチボールをしたりといった貴重な体験をすることができた。



【育友会・地域による環境整備】

育友会や学校応援団（地域ボランティア）の方が、子どもたちの「学びの場」である学校（運動場・芝生の広場など）や地域・通学路の整備を定期的実施してくださっている。

子どもたちがよりよい環境の中で毎日を過ごすことができた。

